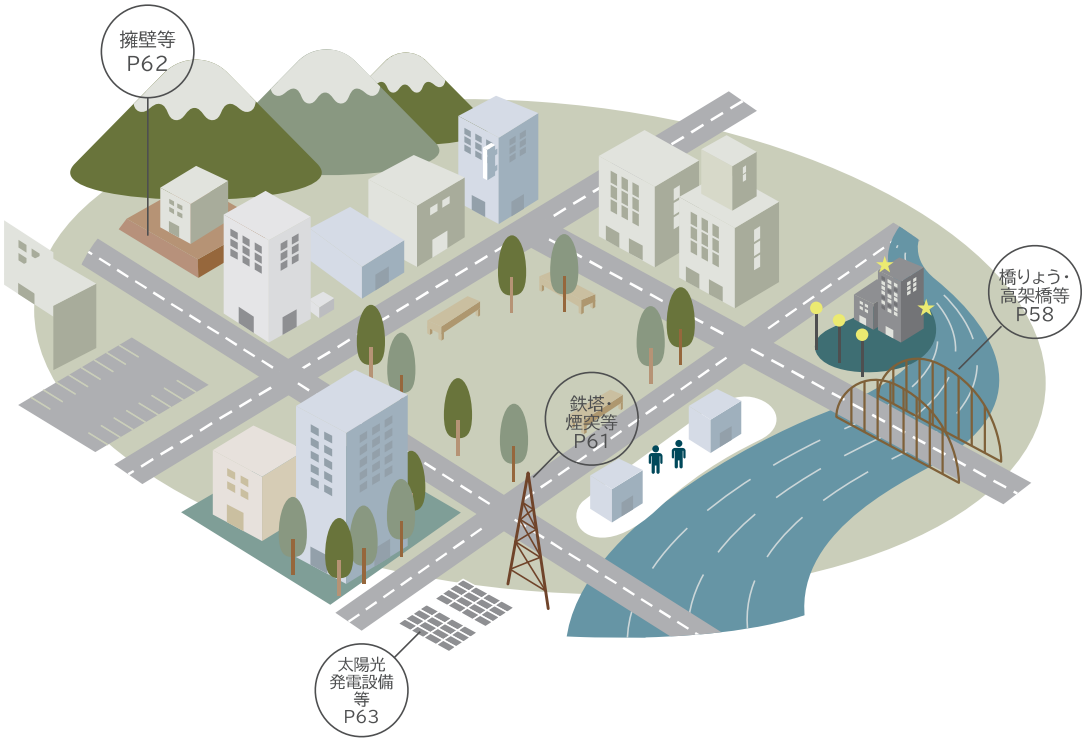
【工作物】

# 景観計画区域における景観形成基準と配慮事例



# 【工作物】景観計画区域における景観形成基準と配慮事例

## 共 通

### 造 成 等

**景観形成基準**

●地形や水辺などの自然環境の特徴を生かすよう努める。(❶)
●地域の植生に配慮する。(❷❸)

方針番号: A1 A2

＜配慮事例＞

❶もとの地形を尊重し、風景の変質を避ける。



トンネル構造物の上部を周辺と連続する緑地として風景の変質を避ける。
(南沢トンネル/中ノ沢・南沢通)

❷地域に親しまれている古木や既存林を大切にする。
❸補植が必要な場合は、周囲にある樹種を選ぶ。



道路による緑地の分断をエコブリッジで繋げ地域の植生に配慮した緑地を繋げる。
(羊ケ丘通)

### 色 彩

**景観形成基準**

●背景となる自然環境や街並みに調和した色彩とする。
色彩は「色彩景観基準」(P93)による。(❶❷)
●工作物に附帯する柵や設備等は周囲に溶け込むような目立たない色彩とするよう配慮する。
色彩は「色彩景観基準」(P93)による。(❸)

方針番号: A1 C1 C2 C6

＜配慮事例＞

❶色彩は札幌の景観色70色とその近似色を基本とし、周辺との調和に配慮する。
❷主な視点場から見たときの背景に応じて、空やみどり、街並み等に溶け込むような色彩を用いる。



背景の空に馴染む色彩に配慮した鉄塔(NTT大通4丁目ビル)

❸工作物に附帯する柵や設備等は周囲に溶け込むような目立たない色彩とする。





背景の空に馴染む色彩に配慮した工作物(北海道電力株式会社本店)

### 維持管理

**景観形成基準**

●適切な維持管理を行う。

方針番号: D2

### 眺望(重点眺望)

**景観形成基準**

●建築物の景観形成基準【さっぽろテレビ塔展望台から西方向の眺望】又は【大通公園と札幌駅前通の交点付近から東方向の眺望】に示す対象範囲を敷地とする場合においては、当該建築物の形成基準について、「建築物」を「工作物」と読み替え準用する。

方針番号: E1

# 橋りょう・高架橋等

## 形　態

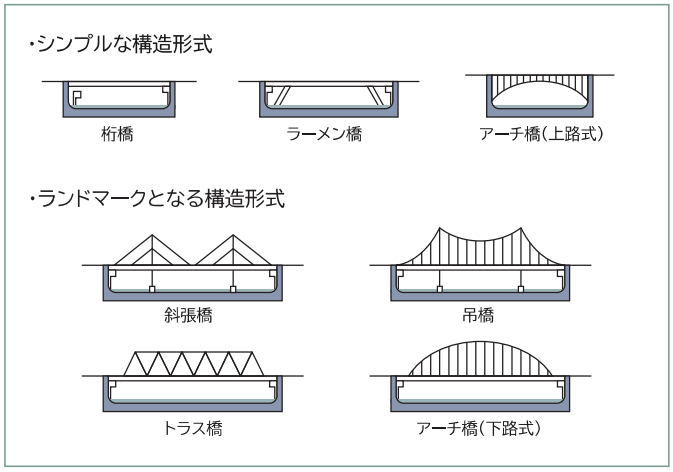
**景観形成基準**

- ●構造形式の選定にあたっては、場所性にも配慮する。（❶❷）
- ●橋りょうへ向かうアプローチ道路と橋りょうの連続性をつくるよう配慮する。（❸）
- ●計画中の橋りょうと近隣の橋りょうが重なりあった時の見え方を考慮したデザインとする。（❹）
- ●上部工・下部工を一体的に捉えるとともに、桁や地覆、高欄などの連続感を大切にし、照明や防音壁などを含めた全体のバランスに配慮する。（❺）
- ●場所性を踏まえた橋詰のデザインとする。（❻❼❽）
- ●具象的な装飾や華美なデザインは原則として避ける。（❾❿）
- ●配管や電気設備等は目立たないよう、全体のデザインの一部とするなど修景するよう配慮する。（⓫⓬）

方針番号
C1
C2
C3
C6

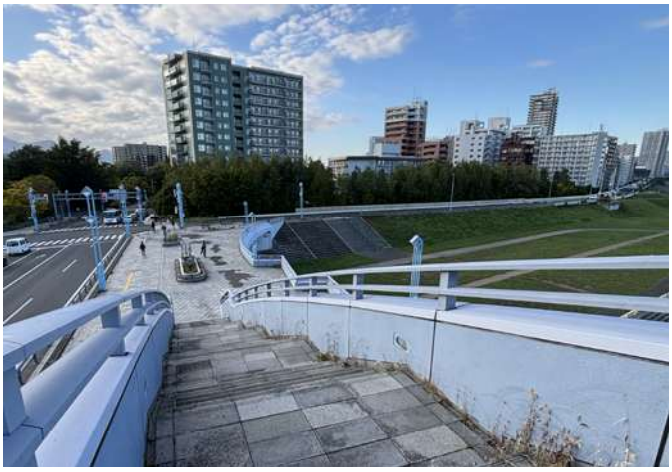
＜配慮事例＞

❶周辺状況に合わせて構造形式を選定する。
❷山並みを背景とする場合は、山並みとの調和に配慮する。



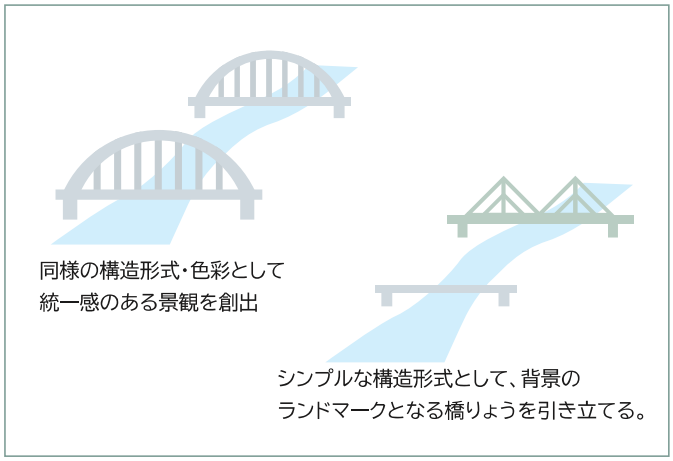

橋りょうを計画する場所性に応じて、ふさわしい構造形式を選択する

❸橋りょうにつづくアプローチ道路と橋上空間に連続性が感じられるよう仕上げなどで統一感をもたせる。



橋りょうからつづくアプローチ道路との連続性に配慮（幌平橋）

❹隣り合う橋りょうと調和するよう形態や色彩などに配慮する。




❺下部工と上部工のデザインを合わせ、一体的に見せる。



橋りょう全体の一体的なデザインに配慮（ミュンヘン大橋）
※下部工：橋を支える柱や土台など／上部工：床や桁・トラスなど

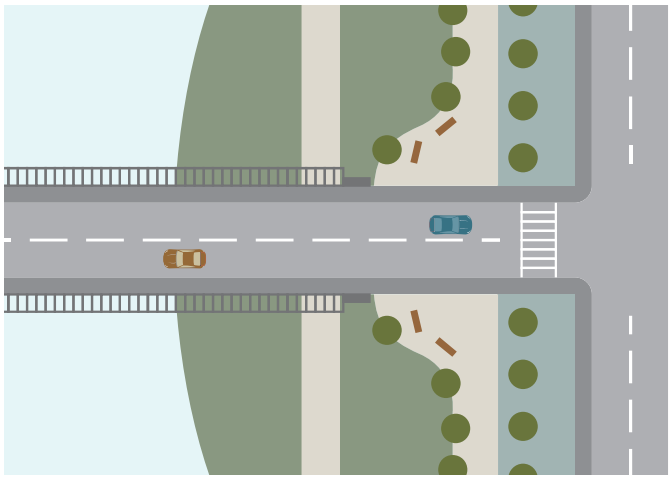
# 橋りょう・高架橋等

❻人通りの多い橋りょうでは、滞留できるような橋詰空間を計画する。
❼街並みとの調和を図るよう橋詰空間を修景する。



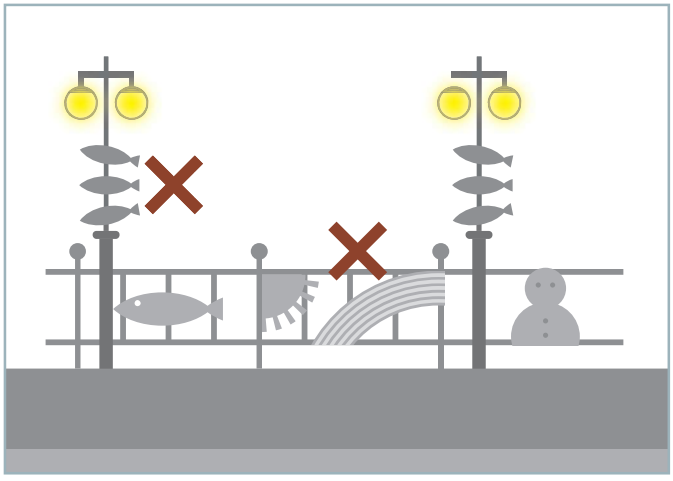
滞留空間を設けた橋詰空間（南二条橋）

❽水辺へのアクセスを整備するなど、
道路と水辺の結節点となる橋詰空間を創出する。



水辺へのアクセスを整備した魅力的な橋詰空間の計画

❾様々なデザインモチーフを用いることや、
直喩的なデザインの使用は避ける。
❿歩道部分の舗装は、過度な模様張りを避け、
シンプルなデザインとする。



色々なデザインモチーフを持ち込むと、それぞれが自己主張し、
ちぐはぐな橋上空間になってしまう。

⓫桁下の配管等を橋りょう全体のデザインの一部として
見せるなどの工夫をする。
⓬配管等を橋脚のスリットに埋め、目立たなくするなどの工夫を
する。



桁下デザインで配管をすっきりと納めている。

### ーコラムー

眺望景観や河川景観などが得られる橋では、全体のデザインバランスに配慮しながら橋詰広場や橋上バルコニーを設置し、歩道空間を演出してみましょう。



橋上バルコニー（忠別大橋/旭川市）

## 附帯物等

**景観形成基準**

●附帯する柵、照明柱等のデザインを統一するよう配慮する。（❶❷）
●附帯する案内板等がある場合は、集合化するよう配慮する。（❸）

方針番号
C1
C2
C3
C6

＜配慮事例＞

❶橋と接続する道路などの周辺も、できる限り附帯物のデザインを統一する。
❷附帯物の色彩を橋りょう本体と調和させるなど、全体的な統一感に配慮する。



橋りょうと調和した附帯物のデザイン・色彩（幌平橋）

❸案内板等はできる限り集合化・コンパクト化するとともに、案内板等の柱と照明柱等を共通化するなど、乱雑な印象にならないよう配慮する。



附帯工作物と公共サインを一体化することですっきりとした橋上空間

## 夜間景観

**景観形成基準**

●ランドマークとなる橋りょうについては、場所性に応じて照明により演出するよう配慮する。（❶）
●生態系への影響等に配慮し、場所の特性に応じた光量や光の向きなどを考慮した照明とするよう努める。（❷）

方針番号
A2
E2

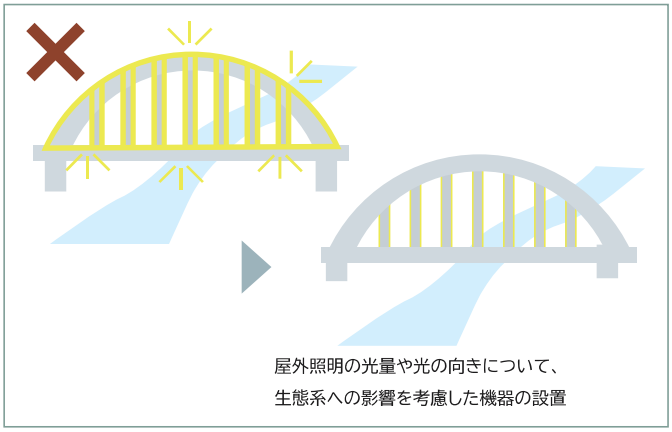
＜配慮事例＞

❶ランドマークとなる橋りょうは照明による演出を行う。



ライトアップして夜間を演出（水穂大橋）

❷生態系に配慮した光量や光の向きとする。



屋外照明の光量や光の向きについて、
生態系への影響を考慮した機器の設置

# 【工作物】景観計画区域における景観形成基準と配慮事例

## 鉄塔・煙突等

### 形　態

**景観形成基準**

●全体の量感を軽減するよう工夫するとともに、構造美を生かした形態とする。（❶❷）
●必要最小限の大きさとする。（❸）

方針番号：C1 C2

＜配慮事例＞

❶量感を軽減するディテール処理を施す。 ❷構造美を生かした形態とする。 ❸可能な限り低いものとする。

### 外　構

**景観形成基準**

●周辺の自然環境や街並みと調和させるため、必要に応じて修景する。（❶）

方針番号：A1 C1 C2

＜配慮事例＞

❶足元を樹木や建築物で隠し、圧迫感を軽減する工夫をする。



足元の樹木によりスケール感を緩和（清田通）

### 附帯物等

**景観形成基準**

●周囲に設置する立ち入り防止柵などは、目立たないよう配慮する。

方針番号：C1 C2

❶立入防止柵などの附帯物等は緑化したり、目立たない色彩とする。



周囲を緑化し、かつ、目立たない色彩の立入防止柵（南33条西10丁目）

# 擁壁等

## 形態等

**景観形成基準**

●歩行者等に対する圧迫感や違和感を軽減するよう、存在感を最小限に抑える造成や十分な緑化を行うよう配慮する。（❶❷❸）

方針番号
C1
C2
C3
C4

＜配慮事例＞

❶既存地形をできるだけ生かして、擁壁等の長さや高さを抑える。
❷長大な擁壁等は、分割し、緑化するなどして圧迫感を軽減するよう配慮する。



既存地形を生かして、緑化により修景された擁壁（札幌芸術の森）

❸大規模な法面等を美しく緑化する。



法面を草花で緑化し圧迫感を軽減

## 附帯物等

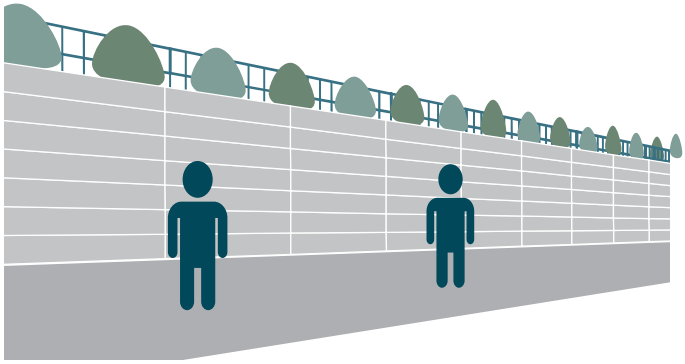
**景観形成基準**

●柵や設備等は、目立たないよう配慮する。（❶❷）

方針番号
C1
C2

＜配慮事例＞

❶擁壁に設置する柵や塀は必要最低限の高さとして、周辺景観に配慮する。



必要最低限の高さの柵と緑化による修景

❷設備類を擁壁の中に組み込んで目立たなくする。



擁壁の中に設備を組み込み目立たなくする工夫（札幌芸術の森）

# 【工作物】景観計画区域における景観形成基準と配慮事例

## 太陽光発電設備等

### 配置等

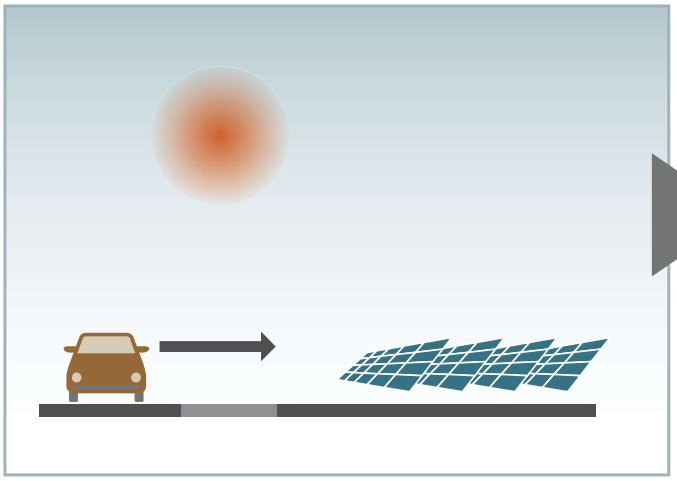
**景観形成基準**

●主要な道路や視点場などからの見え方に配慮して配置するとともに、必要に応じて修景を行うよう配慮する。（❶❷❸）

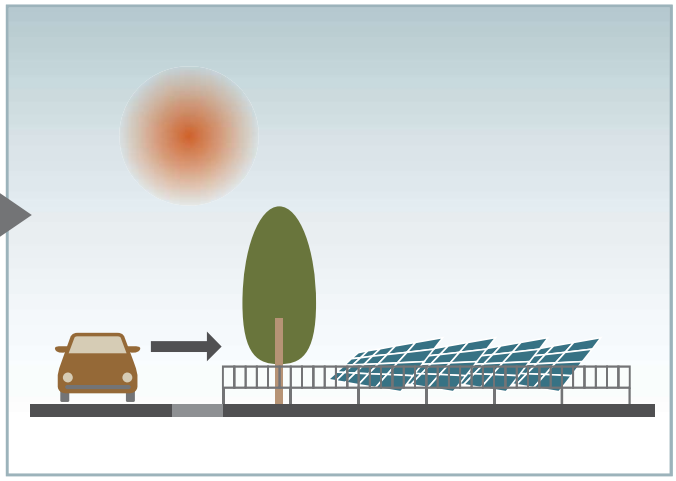
方針番号 C1 C2

＜配慮事例＞

❶太陽光パネルは低反射性のものを使用するなど、反射光が市街地等に影響を及ぼすことがないよう配慮する。
❷主要な道路や視点場などから見えないように、目隠しとなるような植栽や柵などを設置する。
❸景観資源への近接は避ける。



主要な道路から太陽光発電設備への視線を配慮していない計画



主要な道路からの視線に配慮して、太陽光発電設備を修景した計画

### 附帯物等

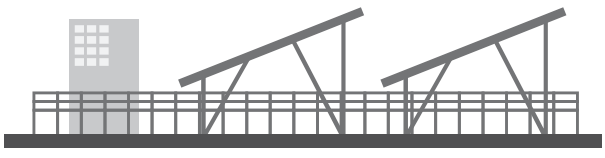
**景観形成基準**

●柵や管理用建築物等は、目立たないよう配慮する。（❶❷）

方針番号 C1 C2

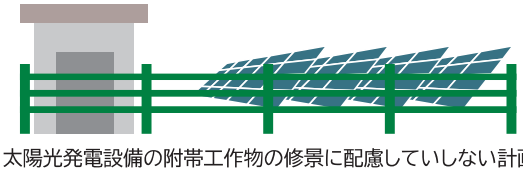
＜配慮事例＞

❶太陽光発電設備の附帯設備は、低明度で統一するなど、周辺環境と調和した色彩となるよう配慮する。

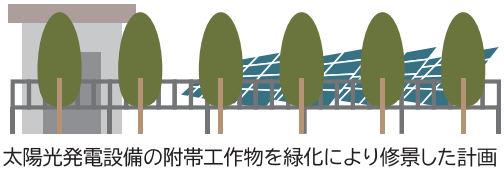


附帯設備の色を低明度で統一し周辺と調和させるよう計画

❷柵などを太陽光発電設備等の目隠しとして設置する場合は、緑化したり、周囲と調和するよう修景に配慮する。



太陽光発電設備の附帯工作物の修景に配慮していしない計画



太陽光発電設備の附帯工作物を緑化により修景した計画